

定例記者会見資料



○日 時	平成 28 年 4 月 14 日 (木) 13 時 30 分～
○会 場	島根県立大学 本部棟 2 階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【3 キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度計画重点項目について…………… [資料 1] ・平成 28 年度当初予算について…………… [資料 2] <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県立大学看護学部「地域特別枠 B」の新設について…………… [資料 3]
○資料提供項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度公開講座の開催について…………… [資料 4] ・書籍の刊行について…………… [資料 5] ・NEAR センター市民研究員の募集及び NEAR センター交流懇談の集いの開催について…………… [資料 6] ・平成 27 年度海外企業研修 成果報告会…………… [資料 7] ・平成 27 年度国際交流報告書の発行について…………… [資料 8] <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県立大学出雲キャンパス・平成 28 年度公開講座の開催について…………… [資料 9] ・島根県立大学大学院看護学研究科開設記念講演会について…………… [資料 10] ・「新入生歓迎バスツアー」の開催について…………… [資料 11]
○行事予定	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回 NEAR センター交流懇談の集い…………… 4 月 16 日(土)

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
 なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201
 出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
 松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
 マスコット
 キャラクター
 オロリン



※次回の定例記者会見は 平成 28 年 5 月 10 日 (火) 13:30 から開催予定です。

平成 28 年 4 月 14 日
島根県立大学浜田キャンパス
担当：総務課 榎野
電話：0855-24-2200

【資料 1】

平成 28 年度計画重点項目

◆社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革

高等教育機関を取り巻く社会情勢の変化や、地域及び時代のニーズに的確に応えるため、各キャンパスにおいて大学改革を着実に推進する。特に、松江キャンパス新学部設置等の準備、出雲キャンパス大学院の円滑な運営、浜田キャンパス将来構想の策定に重点的に取り組む。なお、大学改革を推進するにあたっては、学外からの意見を積極的に聴取し、反映するように努める。

- 松江キャンパスでは、新学部設置等について、平成 29 年 3 月の設置認可申請に向けて着実に準備を進める。また、平成 28 年夏を目途に高校生への進学意向等調査や事業所への採用意向調査等を行うとともに、学生確保に向けた広報活動を実施する。(No.1)
- 出雲キャンパスでは、平成 28 年 4 月に開設する大学院看護学研究科において、看護実践力、コーディネート力、研究力を身につけられるよう個々の学生に適した授業科目の履修を指導・助言する。(No.19-2)
- 浜田キャンパスでは、将来構想検討委員会の素案を基に、法人改革検討委員会における検討を踏まえて法人としての将来構想を策定し、島根県や島根県立大学支援協議会に報告する。(No.1)
- 学生や地域住民等から意見を得る機会を設け、提出された意見に対しては可能な部分から対応する(No.84,89)

◆地域と協働した社会貢献の推進

島根県立大学憲章に謳う「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」を実現するため、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学 COC (Center of community) 事業)」や「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」を基軸として、地域と協働しながら社会貢献活動を推進していく。

- 「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」事業を着実に推進する。平成 28 年度は、「しまね地域共生学入門」を出雲キャンパスと松江キャンパスで、「地域共生演習」及び「地域課題総合理解」を浜田キャンパスで新たに開講する。また、松江キャンパスでは、『履修証明プログラム』8 コースを開講する。(No.46,54)
- 県内就職率向上に向け、島根大学、ジョブカフェしまね等と連携し、学生が県内企業を知る機会となるイベント開催に協力するとともに県内企業とのマッチングを促進する。浜田キャンパスでは、引き続きインターンシップ教育を重視し、学生参加の増加を図るとともに、受入機関からのヒアリングを行いインターンシップ教育に反映させる。(No.9,10,36)。

◆学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化

いわゆる“2018年問題”により、大学間競争がますます激化していくことを踏まえ、将来を見据えた学生募集活動に注力するとともに、本学の特色を打ち出していけるよう、教育内容の更なる充実を図る。また、小規模な本学の特性を活かし、入学から就職に至るまでのきめ細かな支援体制を構築する。

- 各キャンパスにおいて、志願動向及び入学者の学力について分析を行う。また、学部・大学院・短期大学部それぞれの状況に応じ、効率的に高校訪問等を行い県内外へ向けた学生募集活動に取り組む。
(No.2,3)
- 各キャンパスにおいて、授業公開や学外の意見聴取など、授業改善に向けた取り組みを試行する。
(No.27)
- 就職活動時期の変更等、変化する就職環境に的確に対応していくため、キャリア支援プログラムを検証し、必要に応じて改善を加えながら、きめ細かな支援プログラムを実施していく。また、公務員受験対策についても、自治体からのヒアリングを通じて求められる人物像を把握しながら、支援策を展開する。(No.35)

◆国際交流、海外留学等の促進

島根県立大学憲章に謳う「北東アジアをはじめとする国際社会の発展に寄与する大学づくり」を実現するため、グローバル人材の育成に引き続き取り組む。

- 北東アジア地域研究センターでは、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構及び他の研究拠点機関と連携して「北東アジア地域研究推進事業」を着実に実施する。(No.50)
- 国際交流センターを中心に、全キャンパスの学生が交流可能なプログラムを実施する等、国際交流事業を積極的に推進する。(No.60,61,65)

平成28年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

I 予算編成の考え方

公立大学法人島根県立大学は、平成19年度に3大学の統合により設立し、「島根県立大学憲章」に掲げる理念に従い教育研究の活性化及び地域貢献、国際交流等の推進に全学を挙げて取り組んできました。

平成28年度は、第2期中期計画期間（平成25年度～平成30年度）の4年目となり、計画期間の後半が開始する年であり、現計画の仕上げ・成果を強く意識した法人運営を進めていく必要があります。そして、並行して、次期中期計画に向けた準備に取りかかる時期にも位置付けられます。

一方で、法人運営の効率化を促す趣旨から平成28年度以後も引き続き運営費交付金の減額が継続される見込みであり、自律的な運営のための経費削減努力、効果的な事業執行、事務事業の見直し、自己財源の確保等はますます必要となっています。

このため、平成28年度予算案は、平成28年度計画の重点分野（①社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革、②地域と協働した社会貢献の推進、③学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化、④国際交流、海外留学等の促進）を中心とする同年度計画の着実な実施に必要な事業に対し、重点的かつ効果的に措置することを基本方針として編成を行いました。

II 当初予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は、33億5百万円で、松江キャンパス四年制化事業費及び大規模修繕事業費等の増加に伴い前年度予算（31億39百万円）に比べ、5.3%増（1億65百万円増）となっています。

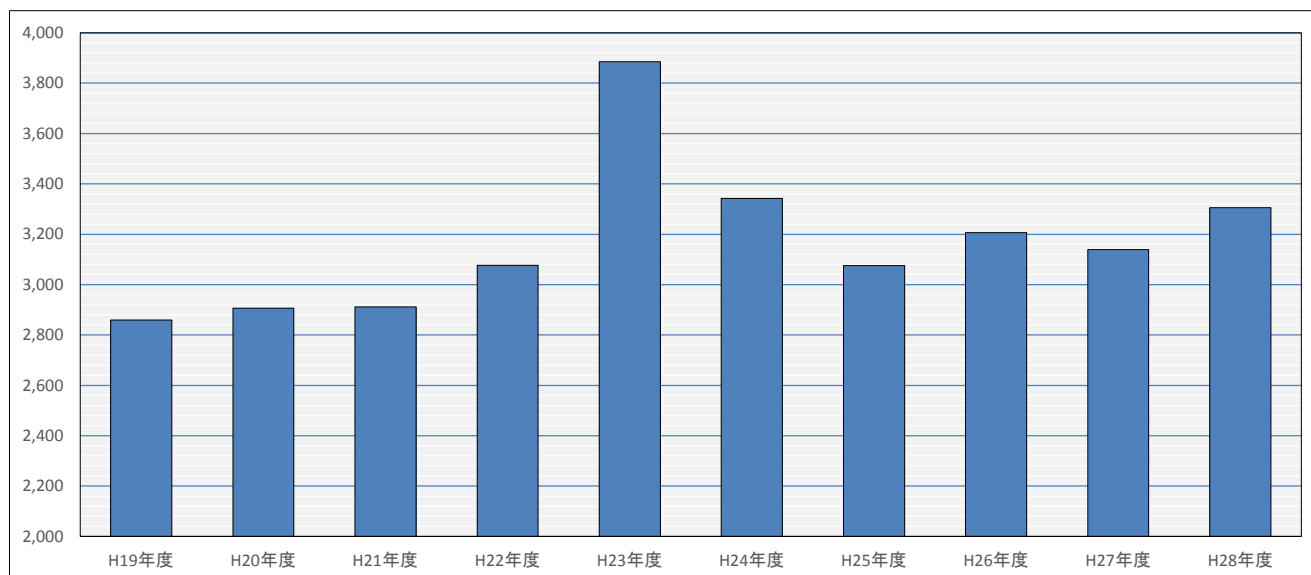
（単位：千円、%）

区 分	平成28年度当初	平成27年度当初	増 減	増減率
予算規模	3,304,580	3,139,477	165,103	5.3

【参考 当初予算規模の推移】

（単位：百万円）

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
2,860	2,907	2,911	3,077	3,885	3,342	3,075	3,206	3,139	3,305



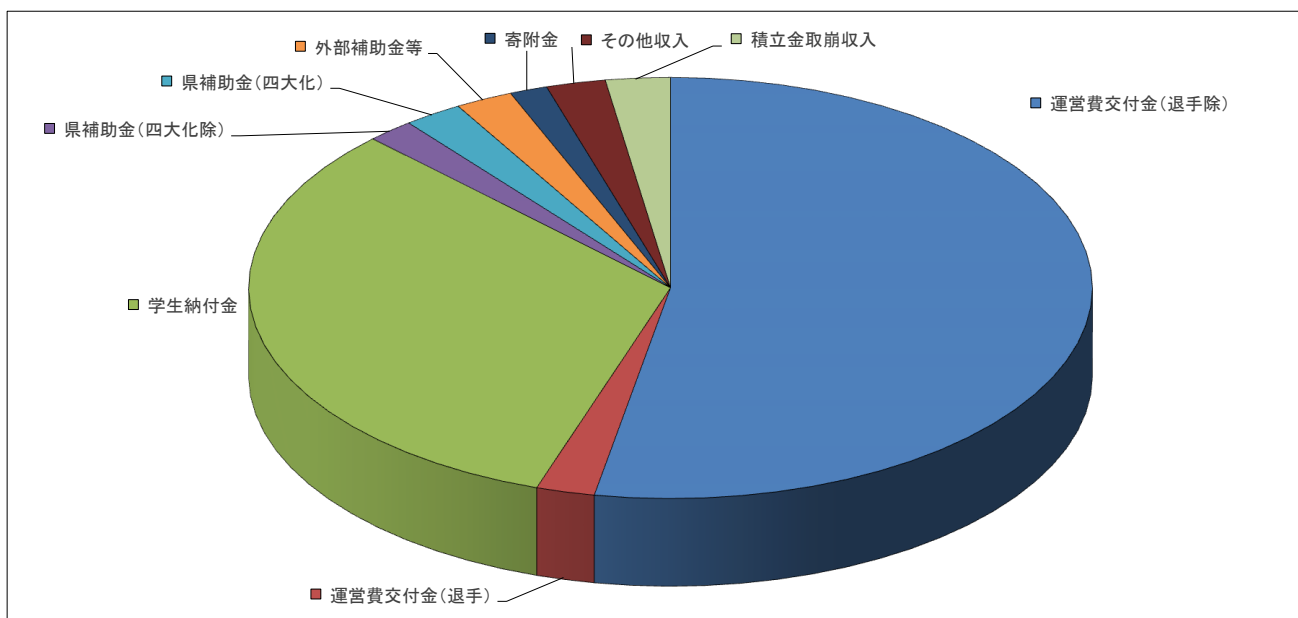
2. 収入予算

(単位:千円、%)

区 分	平成28年度当初		平成27年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	1,747,776	52.9	1,746,690	55.6	1,086	0.1
学生納付金	1,070,044	32.4	1,062,735	33.8	7,309	0.7
県補助金(四大化除)	60,000	1.8	—	—	60,000	皆増
外部補助金等	73,079	2.2	95,664	3.0	▲22,585	▲23.6
寄附金	47,750	1.4	42,000	1.3	5,750	13.7
その他収入	75,281	2.3	76,775	2.4	▲1,494	▲1.9
計	3,073,930	93.0	3,023,864	96.3	50,066	1.7
運営費交付金(退手)	74,048	2.2	22,853	0.7	51,195	224.0
県補助金(四大化)	74,743	2.3	—	—	74,743	皆増
積立金取崩収入	81,859	2.5	93,000	3.0	▲11,141	▲12.0
合 計	3,304,580	100.0	3,139,717	100.0	164,863	5.3

- 運営費交付金と学生納付金の合計で収入全体の85.3%を占めています。
- 運営費交付金（退職手当除き）は、効率化（▲1.0%）、標準収入の見直し、人事委員会勧告を受けた給与改定等により、総額で1百万円増（+0.1%）となっています。
- 学生納付金は、出雲キャンパス大学院及び認定看護師教育課程の開設等により、7百万円増（+0.7%）となっています。
- 県補助金（大規模修繕等の特殊要因経費に対し10/10補助）は、松江キャンパス四年制化事業費及び大規模修繕事業（浜田キャンパス電話交換機更新事業、出雲キャンパス学生寮外壁等改修事業）を計上しています。
- 外部補助金等は、文部科学省教育関係補助金等を計上し、23百万円減（▲23.6%）となっています。
- 寄附金は、島根県立大学未来ゆめ基金事業及び旧北東アジア学术交流財団寄附金事業、出雲キャンパス支援ネットワーク寄附事業に充てるための収入を計上し、6百万円増（13.7%）となっています。
- 積立金取崩収入は、前中期目標期間繰越積立金を財源として実施する事業に充てるための収入として計上し、11百万円減（▲12.0%）となっています。

※目的積立金充当事業・・・教育向上、学生支援、研究支援、学生確保、業務改善、環境整備等に資する事業



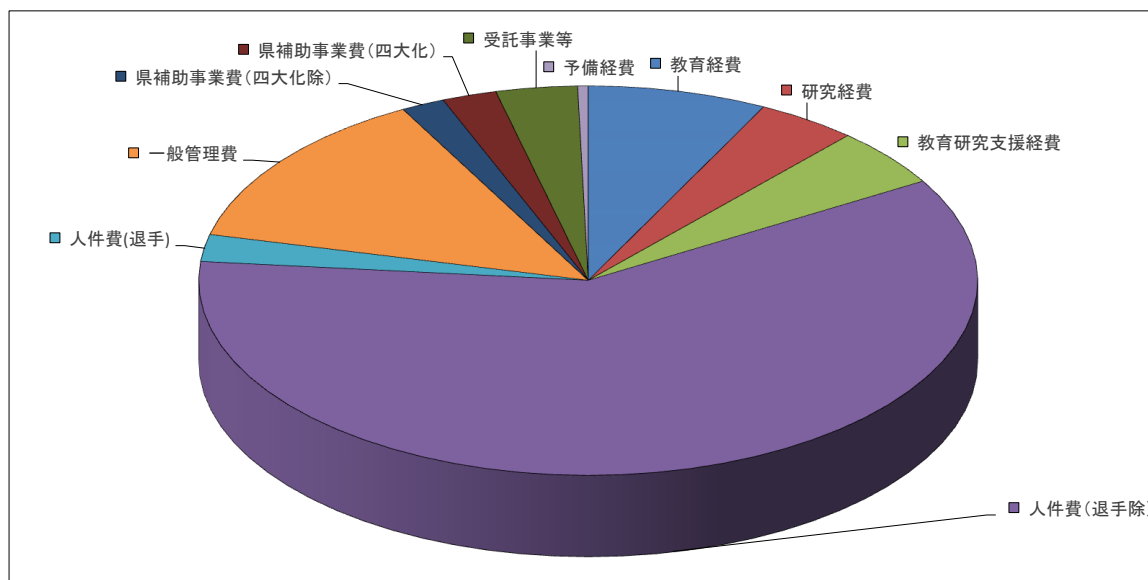
3. 支出予算

(単位:千円、%)

区 分	平成28年度当初		平成27年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	246,049	7.4	255,039	8.1	▲8,990	▲3.5
研究経費	138,211	4.2	146,516	4.7	▲8,305	▲5.7
教育研究支援経費	160,359	4.9	180,746	5.8	▲20,387	▲11.3
人件費(退手除)	1,984,910	60.1	1,947,546	62.0	37,364	1.9
一般管理費	439,974	13.3	447,178	14.2	▲7,204	▲1.6
県補助事業費(四大化除)	60,000	1.8	—	—	60,000	皆増
受託事業等	111,831	3.4	129,669	4.1	▲17,838	▲13.8
予備経費	14,455	0.4	10,170	0.3	4,285	42.1
計	3,155,789	95.5	3,116,864	99.3	38,925	1.2
人件費(退手)	74,048	2.2	22,853	0.7	51,195	224.0
県補助事業(四大化)	74,743	2.3	—	—	74,743	皆増
合 計	3,304,580	100.0	3,139,717	100.0	164,863	5.3
特定財源支出除き	2,901,649		2,894,195		7,454	0.3

- 教育経費は、マイナスシーリングによる経費節減等により、9百万円の減を見込んでいます。
- 研究経費は、マイナスシーリングによる経費節減等により、8百万円の減を見込んでいます。
- 教育研究支援経費は、マイナスシーリングによる経費節減の他、情報システム保守管理経費の減等により、20百万円の減を見込んでいます。
- 人件費（退職手当を除く。）は、人事委員会勧告を受けた給与改定による増、昇給及び昇格に伴う増等により、37百万円の増を見込んでいます。
- 一般管理費は、マイナスシーリングによる経費節減等により、7百万円の減を見込んでいます。
- 県補助事業費は、県補助金を財源とした大規模修繕や松江キャンパス四年制化事業費（施設設備改修費及び準備経費）等の事業を計上しています。
- 受託事業等は、旧北東アジア地域学術交流財団寄附金事業費40百万円を計上し、認定看護師教育課程実施事業等の受託による増、文部科学省補助事業（大学間連携共同教育推進事業、地（知）の拠点整備事業等）の補助金交付額減等により、18百万円の減を見込んでいます。
- 予備経費は、年度途中の緊急的な支出に備えるため、14百万円を計上しています。
- 支出総額は、165百万円増（+5.3%）となっていますが、特定財源による支出を除くと29億2百万円で、前年度に比べ7百万円増（+0.3%）となっています。

※特定財源：運営費交付金(退手)、県補助金、外部補助金、受託研究等収入、旧NEAR寄附金、積立金取崩収入



4. 事業概要

重点分野

1. 社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革

- | | |
|--|-----------|
| (1) 松江キャンパス四年制化事業(法人本部)〈新規〉 | 74,743 千円 |
| ・松江キャンパス四年制大学化に向けた学部設置認可申請、既存校舎改修の設計等を行う。 | |
| (2) 大学院(看護学研究科)の運営経費(出雲C)〈新規〉 | 3,304 千円 |
| ・出雲キャンパスの大学院看護学研究科(H28年4月開設)の運営を行う。 | |
| (3) 認定看護師教育課程実施事業(出雲C)〈新規〉 | 27,342 千円 |
| ・出雲キャンパスの緩和ケア認定看護師教育課程(H28年6月開講)の運営を行う。 … (22,666千円) | |
| ・認定看護師教育課程の新たな分野での申請準備を行う。 … (4,676千円) | |
| (島根県からの受託事業) | |

2. 地域と協働した社会貢献の推進

地(知)の拠点整備事業(全C)〈継続〉 33,290 千円

- 平成25年度に文部科学省により国庫補助事業として採択された「地(知)の拠点整備事業」について、平成29年度までの事業期間の4年目として、計画に基づき、地域のニーズ(課題)と大学のシーズ(資源)のマッチング(=縁結び)、「しまね地域共生学入門」を出雲・松江キャンパスで、「地域共生演習」及び「地域課題総合理解」を浜田キャンパスで開講する他、松江キャンパスにおいて「履修証明プログラム」を開講する等、事業を着実に推進する。

3. 学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化

- | | |
|---|-----------|
| (1) 授業料奨学制度(全C)〈継続〉 | 96,289 千円 |
| ・意欲ある学生への学修支援を行うために、経済的支援としての学修支援奨学金、入学時奨学金、成績優秀者奨学金等を学生に給付する。 | |
| (2) 公務員試験対策講座実施支援事業(浜田C)〈継続〉 | 2,312 千円 |
| ・試験対策専門講座の実施により、公務員試験合格をめざす学生の支援を行う。
※短期集中講座開講、チューター等謝金、WEB講座等受講料助成 | |
| (3) キャリア系授業科目の充実(浜田C)〈継続〉 | 1,959 千円 |
| ・キャリア形成I・II、インターンシップ入門等の学生のキャリア形成に資する講座を開講する。 | |
| (4) 在学生による母校訪問プロジェクト(全C)〈拡充〉 | 195 千円 |
| ・各キャンパスの在学生が夏季休講期間に母校(高校)の進路指導担当教員を訪問して、本学での学生生活について報告し、本学をPRする取組を実施する。 | |

4. 国際交流、海外留学等の促進

- | | |
|--|-----------|
| (1) 海外留学・海外研修等に係る奨学金(全C)〈継続〉 | 12,458 千円 |
| ・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、奨学金制度を継続・拡充し、学生の海外留学、海外研修等に対する支援の強化を図る。 | |
| ① 海外留学奨学金(浜田C) | |
| ・学長の許可を受けて協定留学(ダブルディグリー、交換留学、派遣留学)する学生に奨学金を支給する。
※(H27実績)12名 | |
| ② 海外研修奨学金等(全C) | |
| ・異文化理解研修、海外企業研修等に参加する学生に奨学金を支給する。
※(H27実績)94名 | |
| (2) 海外企業研修事業(浜田C)〈継続〉 | 3,480 千円 |
| ・グローバルに展開する企業への訪問、また学生との交流を通じて国際化の進む社会の様々な分野で活躍できる人材を育成する。 | |
| (3) JCSOS緊急事故支援システム加入(法人本部)〈継続〉 | 731 千円 |
| ・学生の海外派遣に係るサポート体制を強化するため、海外派遣中の緊急事態発生時に情報収集等のサービスを提供するNPO法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)に加入する。 | |

※重点分野に対応する主な事業を掲載

重点広報事業

(1) 法人広報誌作成(法人本部)〈継続〉	6,014 千円
<ul style="list-style-type: none"> 法人広報誌「オロリン」を定期的に発行し、地域へ大学情報をきめ細やかに発信する。 ※発行予定(年2回) ※印刷部数(43,000部) ※配布先(県、市町村、高等学校、保護者等) 	
(2) 受験生を対象にした広報の充実(法人本部)〈継続〉	3,365 千円
<ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパスの参加者及び本学の受験者の増加に資する広報活動を実施する。 ※新聞広告(2回)、テレビCM放映(島根県内ほか中四国地域) 	
(3) 松江キャンパス四年制化特設ホームページ作成(法人本部)〈新規〉	486 千円
<ul style="list-style-type: none"> 大学ホームページ内に松江キャンパス四年制化に関する特設ページを開設し情報発信を行う。 	
(4) 広報スキルアップ研修の開催(法人本部)〈継続〉	150 千円
<ul style="list-style-type: none"> 教職員の広報マインドの醸成等を目的としたスキルアップ研修を実施する。 	

その他主要事業

1. 教育・学生支援

(1) しまね地域マイスター制度に係るゼミナール活動等の支援(浜田C)〈新規〉	420 千円
<ul style="list-style-type: none"> 「しまね地域マイスター」の資格を取得するために履修・修得しなければならない「地域共生演習」において、フィールドワークを行う学生の負担軽減と円滑な活動の実施を図る。 	
(2) 「島根の地域医療」フィールドワークの実施(出雲C)〈継続〉	1,389 千円
<ul style="list-style-type: none"> 2年次生が受講する科目「島根の地域医療」において、離島、中山間地域をはじめとする地域医療の現状を学ぶため、グループ単位でのフィールドワークを実施する。 	
(3) 「おはなしレストラン」事業(松江C)〈継続〉	7,421 千円
<ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせを通じた学生の人間力育成のため、絵本文庫の運営、おはなしシェフの養成及び広く県民を対象とした読み聞かせ活動を実施する。 	
(4) 学生地域ボランティア活動推進事業(全C)〈継続〉	608 千円
<ul style="list-style-type: none"> 学生が地域ボランティア活動等に安心して参加することができるよう、活動中の不測の事態に備えるための保険料を大学が負担するとともに、窓口機能の強化、学生との意見交換会の開催等を行い、学生ボランティア活動の推進を図る。 	

2. 県特殊要因経費補助金事業

(1) 松江キャンパス四年制化準備事業(再掲)	74,743 千円
<ul style="list-style-type: none"> 松江キャンパス既存棟改修基本・実施設計費 … (9,537千円) 四大化準備経費 … (65,206千円) 	
(2) 大規模修繕事業	60,000 千円
<ul style="list-style-type: none"> 電話交換機更新工事(浜田キャンパス) 学生寮外壁等改修工事(出雲キャンパス) 	

3. 旧北東アジア地域学術交流財団(旧NEAR財団)寄附金事業

40,000 千円

①北東アジア学研究プロジェクト事業	4,350 千円
②共同プロジェクト研究助成事業	6,212 千円
③学術図書出版助成事業	2,000 千円
④研究員等招へい派遣助成事業	1,000 千円
⑤地域貢献プロジェクト助成事業	3,900 千円
⑥国際学術交流事業	5,000 千円
⑦留学生教育支援事業	16,938 千円
⑧国際文化交流促進事業	600 千円

平成28年4月14日(木)

島根県立大学 出雲キャンパス

担当:松村、松崎

電話:0853(20)0215

島根県立大学看護学部「地域特別枠B」の新設について

<目的>

島根県中山間地域の厳しい看護職不足への対応と、看護職の将来のリーダーを育てるため、7県立学校（島根中央高校、矢上高校、津和野高校、吉賀高校、飯南高校、横田高校、石見養護学校）出身者が、確実に本学に入学して看護学を学べるようにし、4年後に再び地元へ帰っていく仕組みを構築すること。

<新設する推薦入試>

定員5名以内 各学校から1名以内で推薦（5名枠を7校で競う）



選抜方法

大学入試センター試験（3科目）+面接+書類審査

出願要件

出身学校が所在する町の首長、出身学校長の推薦を必要とする。

卒業後、推薦を受けた町へ看護職として勤務が可能な者

調査書の全体の評定平均値が 3.8 以上の者

<現行の入試制度>

I 募集人員

看護学部看護学科

学部 学科	修業 年限	入学 定員	募 集 人 員						
			一般入試 <注1>			推薦入試一般 <注2>			社会人・ 学士入試
			帰国子女 入試	私費外国 留学生入試	専門高校 総合学科 卒業生	地域特別			
看護学部 看護学科	4年	80名	37名	1名以内	1名以内	40名	5名以内	2名以内	3名

注1 「一般入試」の募集人員には、「帰国子女入試」及び「私費外国人留学生入試」の募集人員を含む。

注2 「推薦入試一般」の募集人員には、「推薦入試専門高校・総合学科卒業生」及び「推薦入試地域特別」の募集人員を含む。

<新しい入試制度案> 平成29年度入試以降

学部 学科	修業 年限	入学 定員	一般入試 <注1>			推薦入試一般 <注2>			社会人・ 学士入試	
			帰国子 女入試	私費外 国留 学生入 試	専門高 校・総 合学 科 卒業生	地域 特別A	地域 特別B			
看護学部 看護学科	4年	80名	37名	1名以内	1名以内	40名	5名以内	2名以内	5名以内	3名

注1 「一般入試」の募集人員には、「帰国子女入試」及び「私費外国人留学生入試」の募集人員を含む。

注2 「推薦入試一般」の募集人員には、「推薦入試専門高校・総合学科卒業生」及び「推薦入試地域特別A・B」の募集人員を含む。

平成28年4月14日

島根県立大学浜田キャンパス

担当：地域連携課 慈地・竹口

電話：0855-24-2396

平成28年度公開講座の開催について（浜田キャンパス）

島根県立大学では、教育・研究における成果を広く地域社会に還元することをおし
て、「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」を実現するため、
今年度も公開講座を開催いたします。

1. 期間

平成28年5月11日～平成28年12月21日（詳細はパンフレットを参照）

2. 内容

全30講座（詳細は別紙一覧表を参照）

3. 会場

島根県立大学浜田キャンパス 講義・研究棟、およびメディアセンター
（詳細はパンフレットを参照）

4. 主催者

島根県立大学浜田キャンパス

5. 後援

島根県、島根県教育委員会（申請中）、浜田市、浜田市教育委員会（申請中）

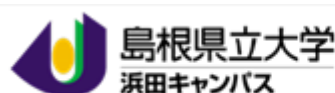
6. 受講料・申込方法

- ・受講料は無料です。
- ・電子メール、電話、ファクシミリ、はがきにてお申し込みください。

あて先 〒697-0016 浜田市野原町 2433-2 島根県立大学 地域連携課

TEL：0855-24-2396 FAX：0855-23-7352

E-mail：tiiki@admin.u-shimane.ac.jp



公開講座申込方法

「電子メール」「電話」「FAX」「はがき」のいずれかの方法で、下記事項についてお知らせください。

- 講座科目 No. (①～③⑩でお知らせください。)
- お名前 (フリガナを併記してください。)
- ご住所
- 電話番号 (急な変更等の連絡に使用します。)

※受講決定の連絡は原則として行いませんので、当日、会場へお越しください。
定員は設けませんが、準備の都合上、事前申込をお願いします。

ワンコイン (100円) バス時刻 大学線 (抜粋)

浜田駅 → 大学	大学 → 浜田駅
9:45	9:56
12:31	12:45
12:45	12:56
17:04	17:15
17:45	17:56
	12:15
	15:00
	15:30
	20:00
	21:05
	12:31
	15:11
	15:44
	20:11
	21:27



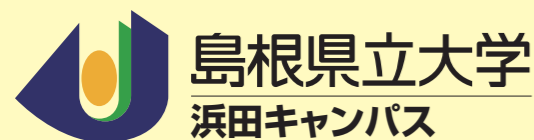
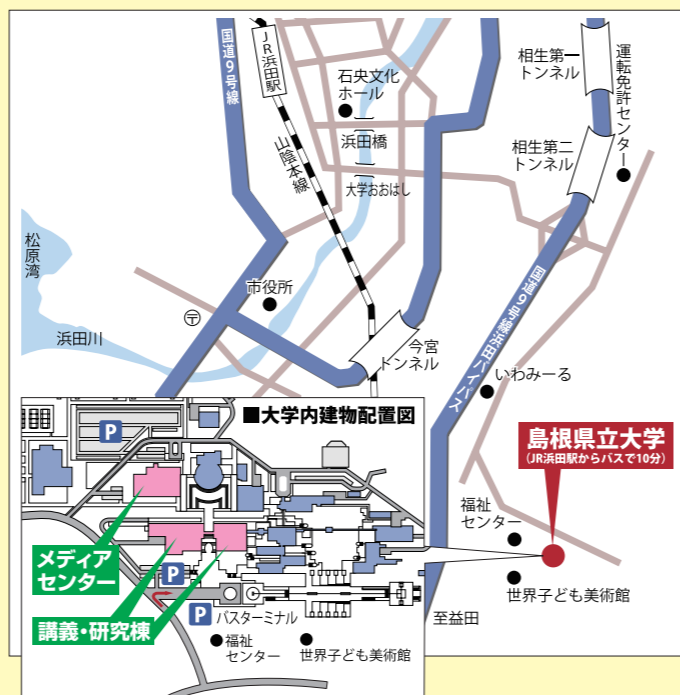
ご案内

浜田キャンパス公開講座会員を募集します(会費は無料)

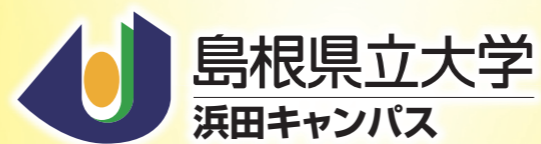
平成26年度より、地域の皆さまに、島根県立大学浜田キャンパスの公開講座等を通じて、大学をより身近な存在として感じていただけるようにと、「島根県立大学浜田キャンパス公開講座会員」制度を設けています。たくさんの皆さまからの申し込みをお待ちしております。

「浜田キャンパス公開講座会員」の特典

- 浜田キャンパス公開講座会員の会員証の発行
公開講座受付時には、会員証の提示だけで受付が完了します。また、本会員証はメディアセンター(大学図書館)の「学外利用者カード」を兼ねますので、本会員証でメディアセンターへの入館、及び本の貸出サービスがご利用いただけます。
- 浜田キャンパス情報の提供
公開講座をはじめとする大学内のイベント情報等を、電子メールまたは郵送にてお届けします。
- 公開講座「修了証」の発行
公開講座を一年間に一定の回数以上を受講された方には、「修了証」を発行します。
- ◆「浜田キャンパス公開講座会員」でなくても、公開講座を受講することはできます。
- ◆登録申込方法については、大学ホームページ、公開講座当日の受付に設置するチラシをご覧ください。また、島根県立大学事務局地域連携課へも、お気軽にお問い合わせください。



〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2
島根県立大学 事務局 地域連携課
TEL : 0855-24-2396 FAX : 0855-23-7352
E-mail : tiiki@admin.u-shimane.ac.jp



平成28年度 島根県立大学浜田キャンパス

公開講座



受講
無料

講座 Menu

- 講座Ⅰ **学校では教えてくれない○○の世界**
- 講座Ⅱ **心のふるさと石見を想う～若者たちの熱いキモチ～**
- 講座Ⅲ **浜田キャンパス国際ターミナル～優先搭乗のご案内～**
- 講座Ⅳ **石見の経営革新者**
- 講座Ⅴ **聴いて得する！大学教員の“ちょっとココだけ”の話**

※会場は各講座によって異なりますので、ご確認のうえお越しください。

後援：島根県・島根県教育委員会・浜田市・浜田市教育委員会

島根県立大学

検索

「地域連携推進センター」▶「浜田キャンパス」▶「公開講座」

講座Ⅰ 「学校では教えてくれない石見の○○の世界」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
1	志田尾 隆司 <small>(TSデザイン/有限会社志田尾工務店 代表取締役)</small>	学校では教えてくれない住まいづくりの世界 ～いい家ってどんなの？日本・石見の風土に合った家とは～ いい家の条件ってなんだと思いますか？私の考える条件は、「健康に快適に安心して暮らせる長寿命の家」がよい家の条件だと考えます。そのためには、どんな材料や工法で家を建てたらいいか？なぜ、海外に比べて日本の家の寿命は短いのか？なぜ、住む家によって、健康を害することもあるのか？そういった、住宅業界の裏事情もお話できればと思います。	6月1日(水) 18:15～19:45	講義・研究棟 「中講義室3」
2	安藤 正文 <small>(安養堂鍼灸院 院長)</small>	健康の維持・増進のために～東洋医学の歴史を振り返りながら～ 私は現在、東洋医学の鍼灸師として、また僧侶として跣足の草鞋を履いた道を歩んでいます。鹿仏殿釈や東洋医学の禁止など、日本文化が失われていく政策が次々とおこなわれた明治維新。その理由と背景を振り返りながら、鍼灸の歴史・効果・可能性、私のこれまでの歩みや石見地域での取り組みについてお話します。また、痛みの原因や簡単な対処法などもご紹介いたします。	6月22日(水) 18:15～19:45	
3	平野 義弘 <small>(有限会社平野屋 代表取締役)</small>	「もてなし」の心から～お茶を楽しもう～ 日本の文化の一つに「茶道の心」が世界からも注目されています。しかし、日本人で釜からお湯を掬いお茶を点てる方は少ないのでは？そこで、お茶の歴史や効能・飲み方から「もてなし」の心などもお話し、実際にお抹茶を点てていただく実践講座となっています。	10月19日(水) 18:15～19:45	
4	陳 幼竹 <small>(島根県立大学北東アジア地域研究センター非常勤研究員)</small>	漢方医学の薬膳理論から見る浜田の地元食材 本講座は、身近な食材を漢方医学の薬膳理論から考察し、季節の健康料理を検討する。広い意味において、すべての食材は漢方薬または生薬といえる。本講座では、とくに季節の変化に合わせて、体質と食材の関係を分析し、「食養」として健康に良い料理を薦め、また「食忌」として場合によって注意すべき食材について話したい。	10月26日(水) 18:15～19:45	
5	松尾 恵美 <small>(有限会社ホテル松尾 女将)</small>	石見で宿泊業を続けていくことへの想い 「お帰るなさい。なつかしの国石見へ」一地方の一宿泊施設として昔ながらの日本の旅館のおもてなしの心に学び乍ら、このキャッチフレーズと共に石見を発信し続けている日々。島根県西部は東部と比べて観光の素材も少なく、その差は歴然としている。然しながら、限りある素材を最大限に活かす、地域が力を合わせて観光立国日本に向け、その一端を担っていく想いを語ります。	11月30日(水) 18:15～19:45	

講座Ⅱ 「心のふるさと石見を想う～若者たちの熱いキモチ～」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
6	西田 勝 <small>(西田和紙工房)</small>	石州和紙の歴史と新たな取り組みについて 1898年に伝統的工芸品の指定を受け、ユネスコの無形文化遺産にも登録された石州半紙。石見(石州)地方では約1300年もの間、手すき和紙が漉き続けられ守られてきました。私の実家でもある西田和紙工房も数百年前から代々石州和紙を漉き続けています。そこに生まれた私が家業を継いで石見の地で働こうと思った理由なども合わせて、先人たちから引き継がれた技術・技法を含めた石州和紙の歴史をお伝えするとともに、当工房で抄造している和紙の用途や異業種の職人間で組織した新たな取り組みについて、お話します。	7月20日(水) 18:15～19:45	講義・研究棟 「中講義室3」
7	田畑 卓郎 <small>(NPO法人浜田ライフセービングクラブ)</small>	浜田の海の魅力 19歳でライフセービングと出会い沖縄など県外での生活を経験し、7年前にUターン。そのきっかけとなったライフセービング、海資源を生かした藻塩製造など今までの取り組み、また浜田の海を守り次世代へ繋げるための活動など、浜田の海資源について考えてみたいと思います。	11月1日(火) 18:15～19:45	
8	尾田 洋平 <small>(株式会社リクルートライフスタイル)</small>	島根出身の私が 1986年島根県浜田市に生まれ、高校卒業まで浜田で育つ。その後群馬→大阪→東京→長崎→鳥取→広島とわたり歩くなかで、島根県への愛と自分の実力不足を感じる。現在、島根には住んではいないが島根の外から島根に対し何かができるのかを考えて行動中。そんな私がなぜ島根県への愛に気づき、どのような事を行っているのかをお話できればと思います。よろしくお願いたします。	12月14日(水) 18:15～19:45	
9	キンバリー・モーガン <small>(浜田市国際交流員)</small>	イギリスを旅する 国際交流員の方を講師に迎え、「旅行するならここがオススメ！」というスポット、また、母国の文化・歴史・地理などの分野の中から、普段は聞くことのできない各国の魅力を皆さまにご紹介いたします。	5月11日(水) 10:20～11:50	
10	ナタリア・ボルホドーエフ <small>(国際交流員)</small>	私の知っているロシア巡り 世界で最も広いロシアにはおよそ 180の民族が住んでいます。住んでいる地域、文化、言語、食物は多様に富んでいて、それぞれの特徴や魅力があります。この講座ではロシアのイルクーツク州とブリャート共和国の間にある、世界一深く透明度の高いバイカル湖の話や、遊牧生活も送り続けているトゥヴァ共和国の人々の話を含め、これら三つの地域を中心にロシアの地理、気候、人柄、習慣などの一般情報についてお伝えします。	5月18日(水) 13:15～14:45	
11	マニング・クレイグ <small>(浜田キャンパス教員)</small> 森谷 浩士 <small>(島根県立大学嘱託助手)</small>	人とつながる英会話術 旅行先や訪問先で知り合った人と積極的に英語で会話できるようになるための講座です。初級者から簡単なことなら話せるという人までを対象に、場面や話題を意識しながら英会話を体験します。日本人と英語母語話者の二人の講師が担当するので、実用的な英会話を無理なく学べます。(本講座は講義ではないため、参加者には英語の使用が求められます。)	7月13日(水) 18:15～19:45	
12	ニュン・グエン・ティ・ゴク <small>(浜田市国際交流員)</small>	ベトナムを旅する 国際交流員の方を講師に迎え、「旅行するならここがオススメ！」というスポット、また、母国の文化・歴史・地理などの分野の中から、普段は聞くことのできない各国の魅力を皆さまにご紹介いたします。	8月3日(水) 10:20～11:50	
13	中国の国際交流員 <small>(浜田市国際交流員)</small>	中国を旅する 国際交流員の方を講師に迎え、「旅行するならここがオススメ！」というスポット、また、母国の文化・歴史・地理などの分野の中から、普段は聞くことのできない各国の魅力を皆さまにご紹介いたします。	9月28日(水) 10:20～11:50	

講座Ⅲ 「浜田キャンパス国際ターミナル～優先搭乗のご案内～」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
9	キンバリー・モーガン <small>(浜田市国際交流員)</small>	イギリスを旅する 国際交流員の方を講師に迎え、「旅行するならここがオススメ！」というスポット、また、母国の文化・歴史・地理などの分野の中から、普段は聞くことのできない各国の魅力を皆さまにご紹介いたします。	5月11日(水) 10:20～11:50	「中講義室3」 講義・研究棟
10	ナタリア・ボルホドーエフ <small>(国際交流員)</small>	私の知っているロシア巡り 世界で最も広いロシアにはおよそ 180の民族が住んでいます。住んでいる地域、文化、言語、食物は多様に富んでいて、それぞれの特徴や魅力があります。この講座ではロシアのイルクーツク州とブリャート共和国の間にある、世界一深く透明度の高いバイカル湖の話や、遊牧生活も送り続けているトゥヴァ共和国の人々の話を含め、これら三つの地域を中心にロシアの地理、気候、人柄、習慣などの一般情報についてお伝えします。	5月18日(水) 13:15～14:45	
11	マニング・クレイグ <small>(浜田キャンパス教員)</small> 森谷 浩士 <small>(島根県立大学嘱託助手)</small>	人とつながる英会話術 旅行先や訪問先で知り合った人と積極的に英語で会話できるようになるための講座です。初級者から簡単なことなら話せるという人までを対象に、場面や話題を意識しながら英会話を体験します。日本人と英語母語話者の二人の講師が担当するので、実用的な英会話を無理なく学べます。(本講座は講義ではないため、参加者には英語の使用が求められます。)	7月13日(水) 18:15～19:45	「多目的演習室」 メディアセンター1階
12	ニュン・グエン・ティ・ゴク <small>(浜田市国際交流員)</small>	ベトナムを旅する 国際交流員の方を講師に迎え、「旅行するならここがオススメ！」というスポット、また、母国の文化・歴史・地理などの分野の中から、普段は聞くことのできない各国の魅力を皆さまにご紹介いたします。	8月3日(水) 10:20～11:50	講義・研究棟 「中講義室3」
13	中国の国際交流員 <small>(浜田市国際交流員)</small>	中国を旅する 国際交流員の方を講師に迎え、「旅行するならここがオススメ！」というスポット、また、母国の文化・歴史・地理などの分野の中から、普段は聞くことのできない各国の魅力を皆さまにご紹介いたします。	9月28日(水) 10:20～11:50	
14	森谷 浩士 <small>(島根県立大学嘱託助手)</small>	英会話に活かす日本語学入門 英語学習の過程で“America is afraid of drugs”のような間違った英語を使ってしまうことがあります。このような間違いは、頭に浮かんだ日本語を直訳してしまうことから起こると考えられます。この講座では、どうしてこのような間違いが起こるのか、日本語の仕組みと英語の仕組みの違いを理解して、英会話に活かすことを目指します。	10月12日(水) 18:15～19:45	

講座Ⅳ 「石見の経営革新者」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
15	松永 和乎 <small>(株式会社松永牧場 代表取締役社長)</small>	松永牧場のあゆみ：消費者への信頼と循環型農業への取り組み 平成25年11月より株式会社へ組織変更し新たなスタートを切った松永牧場。これまでもJAS 認証取得「牛のパスポート」制度の開始や、自社内で堆肥化処理をする循環型農業への取り組みもはじまっています。常に消費者への安心・安全を心掛けてきた松永牧場のこれまでのあゆみについてお話しいたします。	5月18日(水) 18:15～19:45	講義・研究棟 「大講義室1」
16	亀谷 典生 <small>(亀谷産業有限会社 代表取締役社長)</small>	石州瓦の新たな挑戦：亀谷窯業200年の伝統製法へのこだわり 石州瓦の高い耐久性を活かした海外寒冷地への販路拡大、またザ・リッツ・カールトン東京の飲食店内装に壁瓦が使用されるなど、業界外からも注目されはじめています。創立210年の老舗企業9代目より、伝統製法を守り抜くことで生まれる石州瓦の新たな価値創造への取り組みについてお話しいたします。	6月15日(水) 18:15～19:45	
17	領家 康元 <small>(株式会社キヌヤ 代表取締役社長)</small>	キヌヤについて：ローカルブランドの取り組み 県西部を中心に 22店舗のスーパーを展開中のキヌヤでは、地元産品(生鮮・加工品等)を「ローカルブランド(LB)」と位置付け、生産者と連携し地産地消の推進に取り組んでいます。代表取締役の領家社長がこれまでに振り返りながら、地域とともに歩んできた会社経営への思いと、キヌヤの「今」についてお話しいたします。	7月6日(水) 18:15～19:45	

講座Ⅴ 「聴いて得する！大学教員の“ちょっとココだけ”の話」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
18	久保田 典男	顧客ニーズの捉え方～フレッシュマン・フィールド・セミナーの取組から～ 企業が売上高を増加させるためには、顧客ニーズを的確に捉えたいうえで商品やサービスを提供することが求められます。本講座では島根県を代表する企業を実際に分析した大学1年生向け必修科目「フレッシュマン・フィールド・セミナー」で実施した一般消費者向けのアンケート調査の内容を説明しつつ、顧客ニーズを捉える手法を紹介いたします。	5月11日(水) 18:15～19:45	講義・研究棟 「中講義室3」
19	岡本 寛 壯 佐藤 寛 壯	立憲主義と安全保障 (1) 憲法編 (2) 国際政治編 近代国家の特質は、強大な政治権力の集中(集権化と強大化)にあります。だとすれば、国家は国民を力で圧倒できるはずですが、むしろ自らそれを抑制し(立憲的制約といえます)、国民の「自由」を法的に保障してきました。同時に、近代国家が成立して以降、国民に対して「安全」保証を提供することが国家の存在理由となりました。つまり、立憲主義と安全保障は、国家のありようを考える上で極めて重要な 2大テーマなのです。では、これまで、立憲主義と安全保障は学術的にどのように把握されてきたのでしょうか。また現代日本において、両者の関係はどうあるべきでしょうか。憲法学と安全保障論を専攻する本学教員が、これらの論点を市民的視点・生活者の目線で考えていきます。	(1)憲法編 5月25日(水) 17:45～19:45 (2)国際政治編 6月8日(水) 17:45～19:45	
20		村井 洋	H.アーレントとアメリカ ドイツに生まれ、ヒトラー政権の成立と共にフランスへ次いでアメリカへ亡命し、アメリカを活動の場にしたいハンナ・アーレント。彼女がアメリカから得たものは何でしょうか、そしてアメリカに向かって訴えたかったことは…。友人たち、伝統、大衆文化、革命と憲法、共和国の危機などをトピックスにお話します。	6月29日(水) 18:15～19:45
22	松尾 哲也	哲学カフェ しまね ～働くこととは？～ 「日常生活のなかで意識して考えることが少ないことを改めて問うこと」、それが哲学の始まりでもあります。全国各地で開催されている「哲学カフェ」を浜田キャンパスで開催します。今回、「働くこととは何か?」について、受講者の皆さんと意見交換を交えながら、共に探求していきます。	8月3日(水) 18:15～19:45	「中講義室3」 講義・研究棟
23	ケイン・エレナ・アン	ビートルクス・ポッターからハリーポッターのイギリスの児童文学：内容語学言語のアプローチで読む 本講座は簡単な英語でおこないます。イギリスの有名な児童文学作家を紹介し、よく知られているシーンを一緒に読んで、映像や写真などを使用しながら理解を深めましょう。ビートルクス・ポッターの作品、ハリーポッター、ナルニア物語などを紹介します。英和辞書を持ってきてください。高校1年生ぐらいの英語力で楽しめます。必要に応じて、日本語も付け加えます。	9月28日(水) 18:15～19:45	
24	張 忠任	経済減速期に入る中国の経済情勢 平成22年には中国の GDP総額は日本を超えたと同時に経済のバブル化が深刻化している。平成24年より中国の経済減速が始まって、平成27年には実質成長率はさらに 7% を割れ、株価は5,100元台から2,600元台へと下落している。本報告は、このような「新常态」を考察し、今年の「供給側改革」を中心に、日中経済関係を含め、中国の経済情勢を検討する。	10月5日(水) 18:15～19:45	
25	マニング・クレイグ	実地研究とサービス・ラーニングの学生活動 この講座では、ボランティアプロジェクトが島根県立大学で学ぶ能力を向上させるためにどのように使われているかを紹介いたします。マニングゼミの生徒たちが行った様々なボランティアプロジェクトを発表し、そのプロジェクトから学んだことを共有します。ぜひこの講座を楽しんでください。	11月8日(火) 18:15～19:45	「多目的演習室」 メディアセンター2階
26	木村 秀史	ゼロからわかるアベノミクス入門～どーなる日本経済!～ この講座では、経済が苦手な方や経済学の初心者を対象に、アベノミクスの目玉政策である「日本銀行の異次元金融緩和策」について基礎の基礎から学びます。アベノミクスは日本経済にとって何か良いことをやっているし、確かに良くなっている気がする…。でもそれが何なのか良く分からない。そんな素朴な疑問にお答えします。	11月9日(水) 18:15～19:45	
27	西藤 真一	地域課題と住民参画：地域の空港を活かすために私たちができること 石見空港の利用者数は、ここ数年、にわか増加しています。しかし、わが国の地方空港路線の旅客数は、総じて減少傾向にあります。また、石見地域の今後の人口動態を考慮すると、将来は非常に厳しいと言わざるを得ない面があります。都市部への数少ない高速交通手段を守るにあたって、私たちに何ができるのでしょうか。いくつかの事例を通して考えてみたいと思います。	11月16日(水) 17:45～19:45	講義・研究棟 「中講義室3」
28	松田 善臣	地域課題と住民参画：生活の「足」を守るために私たちができること バス利用者の減少により、私たちの生活の「足」を担っていたバス路線は、減便や廃止を余儀なくされています。もはやクルマを運転できない人にとっては、日常生活を送ることも困難な状況になりつつあります。こうした状況を改善するために、私たちに何ができるのでしょうか。いくつかの事例を通して考えてみたいと思います。		
29	李 憲	夫婦間の法律問題について考えてみよう 「法は家庭に入らず」という法格言が表すように、夫婦間の問題はあくまで当事者の自治的解決に委ねるべきであるというのが昔からの考え方です。しかし、夫婦間の情報量・交渉力に一定の格差がある中、その自治的解決は屢々弱い者の泣き寝入りをもたらしています。本講座では、夫婦間の様々な紛争について、判例を取り上げながら解説します。	12月7日(水) 18:15～19:45	
30	村井 洋	幸福論はいかが？ 幸福論が流行しています。人生の「半ば」自らの人生を振り返って幸せと言えるのか、私たちの社会は幸福を分かち合っているのか、という自省が静かに広がっているようです。この講座では、幸福とは何か、幸福は人生の「目的」なのか、をカントやB.ラッセルなど著名な幸福論を取り上げながら考えたいと思います。	12月21日(水) 18:15～19:45	「多目的演習室」 メディアセンター1階

平成 28 年 4 月 14 日
島根県立大学浜田キャンパス
担当：企画調整室 齋藤
電話：0855-24-2201

【資料 5】

書籍の刊行について

このたび、本学名誉学長及び本学教員が編集した書籍が刊行されましたのでご案内いたします。

1. 書名等

『中国式発展の独自性と普遍性—
「中国模式」の提起をめぐって—』
宇野重昭・江口伸吾・李曉東編
国際書院、2016 年



2. 内容

本書は、平成 26 年 2 月に島根県立大学浜田キャンパスに於いて、北京大学国際関係学院の先生方をお迎えして開催した同名のシンポジウムの内容を書籍として刊行し、その成果を広く公表するものです。

また、本書は、平成 24～25 年度、北東アジア地域学術交流研究助成金の支援の下に進められた『『北京コンセンサス』と日中関係の行方—北東アジアにおける国際秩序の変化をめぐって—』（研究代表：江口伸吾）の研究プロジェクトの活動が基になっており、併せて、その成果を公表するものです。

本書は、中国の急速な台頭に伴って、国際的に注目されるようになった「中国模式(中国モデル)」の論争をとりあげ、肯定的・否定的の両面において国際社会への影響を拡大し続ける中国の実態を把握することを試みています。また、これを通して、国際的な関心を高める中国をはじめとする北東アジア地域の動向の学術的な解明に貢献しようとしています。

尚、本書は、2000 年の本学開学以来、定期的実施している北京大学国際関係学院との学術交流の成果でもあります。今回で 5 回目の国際シンポジウムとなりますが、両大学の研究者、並びに広く国内外の著名な研究者も加わることで、共存と対立が並存し複雑化する北東アジア地域の動向について、実り多い議論が行われ、その内容を公表しました。

NEAR センター市民研究員の募集 及び NEAR センター交流懇談の集いの開催について

島根県立大学では、平成 28 年度「北東アジア地域研究センター市民研究員」を募集しています。

「北東アジア地域研究センター市民研究員」制度は、本学の北東アジア地域研究センター（NEAR センター）の研究活動に広く一般市民の参加を求め、地域の研究者や有識者との連携を強化することにより、NEAR センターの研究活動の活性化並びに大学院教育の充実を図ることを目的として、平成 18 年度に創設したもので、全国的にも珍しいユニークな制度です。また、研究を通じて本学の地域貢献活動の一翼も担っていただいております。

この「北東アジア地域研究センター市民研究員」の概要等を説明させていただくことを主旨として、“NEAR センター交流懇談の集い”を下記のとおり開催します。

記

1. 日 時 平成 28 年 4 月 16 日(土) 13:00～16:00
*平成 28 年 5 月 14 日(土)13:00～16:00 に第 2 回を予定しています。
*第 1 回に参加出来なかった方もご参加いただけます。
2. 場 所 島根県立大学交流センター 1 階 研修室
3. 内 容 (予定)
北東アジア地域研究センター（NEAR センター）についての概要説明
北東アジア地域研究センター（NEAR センター）市民研究員制度説明
参加者の自己紹介
前年度市民研究員登録者の体験談
4. その他 入場無料
参加申込書による申込が必要です。

※本内容については本学ホームページ（下記リンク先参照）にも掲載しています。

<http://hamada.u-shimane.ac.jp/research/organization/near/>

以上

《NEAR センター交流懇談の集い》を開催！ 《NEAR センター市民研究員》を募集！

- 市民のみなさんの興味と知識を通じて研究センターで交流しませんか？
- NEAR センター市民研究員にぜひご登録ください。
- 2つのサロン（研究グループ）で共同研究／勉強会／読書会などを行っています。
- 市民研究員・大学院生・NEAR センター研究員・教員と共同研究に取り組むこともあります。

4月16日

・第1回NEARセンター交流懇談の集い

- ・どなたでもご参加になれます（要申込）。市民研究員への登録前のお試しに。
- ・会合の前に昼食会も開催します（要申し込み。下記参照）。
- ・まずは市民の仲間、大学院生、NEARセンター研究員、本学教員と懇談。
- ・大学院生との共同研究*マッチングも始まります。

5月14日

・第2回NEARセンター交流懇談の集い

- ・どなたでもご参加になれます（要申込）。引き続き、市民研究員登録前のお試しに。
- ・大学院生との共同研究*マッチングも本格化。

5月21日

・2016年度NEARセンター市民研究員 第1回全体会

- ・市民研究員にご登録の方を対象と致します（要申込）。
- ・大学院生との共同研究申請をご希望の方は、必ずご参加ください。
- ・《グループ・リサーチ・サロン》で大学院生との共同研究*マッチング完了予定。
- ・石見神楽「幻の演目」も復活上演の予定。

*「市民研究員と大学院生の共同研究」には、平成28年度より浜田市からも補助金が交付されます。

「北東アジア地域研究センター市民研究員制度」のご説明をかねて、《NEAR センター交流懇談の集い》を下記の通り開催いたします。どなたでもご参加になれます（要申込）。

記

- と き 第1回 2016年4月16日（土）13:00～16:00
第2回 2016年5月14日（土）13:00～16:00
- ところ 島根県立大学浜田キャンパス 交流センター1階 研修室
- 次第 NEAR センター長挨拶、NEAR センター概要・市民研究員制度説明、参加者自己紹介、市民研究員の体験談など

*第1回は12:00から昼食会を行います（会費¥1,000 当日頂きます）。ご参加ください。

○お問い合わせ 〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2

島根県立大学事務局企画調整室

TEL：0855(24)2201 FAX：0855(24)2208

E-Mail:kikaku@admin.u-shimane.ac.jp

NEAR センター交流懇談の集い 参加申込書

※ 以下の事項にご記入の上、郵送または FAX にてお送りください。

◇ 郵送先：〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2

島根県立大学浜田キャンパス企画調整室 市民研究員係

◇ FAX：0855-24-2208

※ 資料準備の都合上、誠に恐縮ですが、第1回は4月13日(水)までに、第2回は5月11日(水)までにご連絡頂きますようお願い致します。

※ 住所・電話番号・E-Mail アドレスを除くお名前、あなたの興味、取り組んでみたい研究については「第1回 NEAR センター交流懇談の集い」の際に参加者の皆様に資料として配布することとしていますので、あらかじめご了承ください。

・NEAR センター交流懇談の集いに参加します。(※参加を希望される回に○をつけてください。両日参加も可能です。)

第1回
《4月16日(土)開催》

第2回
《5月14日(土)開催》

お名前

ご住所(〒 -)

電話番号：

E-Mail：

昼食会(4/16) (会費¥1,000円) 参加する 参加しない

北東アジアや島根県、山陰地方に関するあなたの興味をご自由にお書きください。

上記に関し取り組んでみたい研究をお持ちの方はご自由にお書きください。

《2016年度 NEAR センター市民研究員 第1回全体会》を下記の要領で開催します。

大学院生との共同研究申請をご希望の方は、「市民研究員登録」をお済ませの上、ご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

記

○と き 2016年5月21日(土) 13:00~17:00 (終了時刻は予定)

○ところ 島根県立大学浜田キャンパス 交流センター2階 コンベンションホール

○次 第 NEAR センター長挨拶、石見神楽上演、アカデミック・サロン、NEAR センター研究員自己紹介、市民研究員自己紹介、大学院生自己紹介、記念撮影、グループ・リサーチ・サロンのグループ分け及び共同研究のマッチング、施設案内(希望者)

○お問い合わせ 〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2

島根県立大学事務局企画調整室

TEL. 0855(24)2201

FAX. 0855(24)2208

E-Mail: kikaku@admin.u-shimane.ac.jp

----- キ リ ト リ -----

NEAR センター市民研究員 第1回全体会

参加申込書

※ 以下の事項にご記入の上、郵送または FAX にてお送りください。

◇ 郵送先: 〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2

島根県立大学浜田キャンパス企画調整室 市民研究員係

◇ FAX: 0855-24-2208

※ 資料準備の都合上、誠に恐縮ですが、5月18日(水)までにご連絡頂きますようお願い致します。

※ この全体会は、市民研究員にご登録なさる方にご参加いただくものです。別紙「平成28(2016)年度市民研究員登録申込書」に必要事項をご記入の上、上記住所にご郵送ください。「市民研究員登録申込書」は全体会当日にご持参いただいても結構です。

《NEAR センター市民研究員 第1回全体会》に参加します。

○ お名前

○ ご住所(〒 -)

電話番号:

E-Mail:

北東アジア地域研究センター市民研究員について

1. 市民研究員制度とは？

本学の北東アジア地域研究センター（NEAR センター）の研究活動に広く一般市民の参加を求め、地域の研究者や有識者との連携を強化することにより、NEAR センターの研究活動の活性化並びに大学院教育の充実を図ることを目的として、平成 18 年度から創設したもので、全国的にも例のないユニークな制度です。平成 23 年度からは、新たに市民研究員代表委員会を中心とした「市民研究員グループ・リサーチ・サロン」を制度に盛り込み、名実とともに市民研究員主体の交流・研究活動の集いとしての制度に生まれ変わりました。なお、〈北東アジア地域〉とは、日本およびロシア極東、モンゴル、中国大陸・台湾、朝鮮半島を含む地域のことを意味しています。

2. 市民研究員の応募資格は？

市民研究員には、「北東アジア地域の総合的研究、島根を中心とする地域政策関連の研究、本学の学術研究活動の発展に貢献する意欲」のある方であればどなたでもご応募できます。

3. 市民研究員は何をするか？

NEAR センターでは、日本を含む北東アジア地域に関する研究を行っています。

市民研究員は、このセンターに所属して、興味のあるテーマについて自ら研究活動に取り組んでいただきます。また NEAR センター研究員や本学大学院生との研究交流を通じて、互いに知的刺激を及ぼし合っていただくとともに、共通の関心分野について共同研究に取り組んでいただきます。

4. 市民研究員の特典

(1) 市民研究員全体会の開催

別添 1「市民研究員全体会の開催について」をご参照ください。

(2) 市民研究員グループ・リサーチ・サロンの開催

別添 2「市民研究員グループ・リサーチ・サロンについて」をご参照ください。

(3) 研究会等への参加

NEAR センターが主催する各種研究会、国際シンポジウム等に参加することができます。

(4) NEAR センター図書・資料室の利用

約 1 万冊の北東アジア地域研究に資する図書・資料、約 100 種の北東ア

ジア地域で刊行されている雑誌を蔵する「NEAR センター図書・資料室」を利用することができます（月～金曜日 9:00～17:00）。

(5) メディアセンターの利用

図書約 7 万冊、雑誌 250 種類以上、新聞、視聴覚資料などをそろえた「島根県立大学メディアセンター(図書館)」を「市民研究員用利用カード」で利用できます。ご利用いただけるサービスは、資料の閲覧、複写（有料）、貸し出し（5 冊 2 週間以内〔手続きにより貸出延長可〕）、インターネット（別途手続きが必要）・視聴覚資料・電子資料・マイクロ資料の閲覧、レファレンスです。（購入希望図書のリクエストやパソコン相談、相互貸借はご利用いただけません。）詳しい利用案内は、<http://hamada.u-shimane.ac.jp/campus/library/> をご参照ください。

(6) 刊行物の配布

『学報』、『NEAR News』（ニューズレター）、その他の刊行物が無料配布されます。

(7) 市民研究員「年度末報告書」（ワーキングペーパー）の作成

市民研究員制度の活動実績、市民研究員・院生・教員個々の研究成果をまとめた「年度末報告書」（ワーキングペーパー）を定期的に作成する予定です。皆様の独創的な研究成果をお寄せくださるよう期待しております。

5. 大学院生との共同研究

別添 3「大学院生との共同研究について」をご参照ください。

6. 謝金、旅費等の支給について

「全体会」や「グループ・リサーチ・サロン」など通常の活動については、旅費、謝金などは支給しません。自主的な参画をお願いします。

研究費については、上記 5 の大学院生との共同研究で採択を受けたものに限って、その活動費（旅費や文献購入費など）に対して助成が行われます。

7. 市民研究員への登録手続き

- (1) 別添の登録申込書を下記の送付先へ（お手数ですが更新の方についても必ず）ご提出ください。なお、募集は通年で行っておりますが、大学院生との共同研究への申請を希望される方については、**5月21日（土）**までにご提出ください。

※送付先：〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2
島根県立大学事務局企画調整室

- (2) 今回の任期は、平成 29 年 3 月 31 日までとなりますが、次年度以降更新が可能です。

島根県立大学北東アジア地域研究センター（NEARセンター）

平成 28（2016）年度 市民研究員登録申込書

島根県立大学長 本田 雄一 様

島根県立大学北東アジア地域研究センター市民研究員登録を、
[新規 継続] 申込みます。

申込日 : 年 月 日

ふりがな

お名前 : 印

【重要】[申込み〆切について]

登録は通年で受け付けておりますが、大学院生との共同研究への申請を考慮しておられる方は、5/21（土）までに、登録申込書をご提出ください。期日までに登録申込書の提出がない場合、共同研究への申請はできませんので、ご注意ください。

《北東アジア地域研究センター市民研究員制度》ご登録にあたってのお願い

本制度では、市民研究員の方に、それぞれのお立場から市民研究員相互・院生の研究に刺激を与えてくださることを期待しております。あなたの得意分野、研究関心、院生にたいして市民ならではの視点やご経験から刺激を与えることができると思われる事柄を下欄にご自由にお書きください。また、2つのグループ・リサーチ・サロンのうち、所属して活動してみたいサロンのチェック欄に印をつけて下さい（複数選択可）。

＜グループ・リサーチ・サロンのテーマ＞

北東アジア地域の歴史と文化（史資料（古文書）発掘・解読、北東アジアの言語、宗教など）

北東アジア地域の現代的課題（北東アジア諸国の経済関係・企業活動・外交・環境問題・福祉・人的交流など）

（→裏面もご確認ください）

*** 継続して申込みをされる場合には、以前の申込内容と変更がある箇所のみ、ご記入をお願いします。但し（注）については必ずご確認ください、必要に応じてチェック欄に印をお願いします。**

(2016年4月1日現在)

ふりがな 氏名			
生年月日(年齢)	(西暦) 年 月 日 (満 歳)	性別	男・女
現住所	(〒 -)		
連絡電話番号	() -	F A X	() -
勤務先			
E-mail			
得意とする分野等			
これまでの社会に対する活動等 (職歴・奉仕活動・地域での活動など)			
年 月	事 項		

※ここに記載された個人情報については市民研究員制度に係る事業について北東アジア地域研究センター及び島根県立大学事務局により管理を行います。

(注) 記載された情報【住所・電話番号・メールアドレスの個人情報】について市民研究員全体会の案内及び北東アジア地域研究センター各種資料の送付、その他本学に関する事業についての連絡、資料送付等に使用することに同意したものとします。

また、以下について登録申込書への記載情報の提供ができないものについてチェック欄に印をつけてください。

- 大学院生・NEAR 研究員 (大学院生・市民研究員・NEAR 研究員の共同研究事業に使用します。)
- 市民研究員代表委員 (グループサロン・その他市民研究員間の交流等に使用します。)

北東アジア地域研究センター市民研究員のイメージ

北東アジアに興味あり

市民の皆さん

地域の研究に興味あり

NEARセンター市民研究員

市民研究員に登録すると...

- ・市民研究員全体会参加
- ・グループ・リサーチ・サロン参加
- ・NEARセンターの各種研究会参加
- ・メディアセンター(図書館)利用
- ・学内刊行物各種贈呈
- ・研究成果を年度末報告書に掲載などの機会をご提供

NEARセンター市民研究員

市民研究員は何をするの？

- ⇒研究・交流活動を展開します
- ☆市民研究員全体会、グループ・リサーチ・サロンに参加ください
- ☆市民研究員相互に、またNEARセンター研究員や本学教員、大学院生たちと北東アジアや地域の課題などを話題に気軽に語り合しましょう



交流懇談の集い (28年度は2回開催予定)

第1回 H28.4.16/第2回 H28.5.14

全体会 (28年度は計3回の開催を予定)
市民研究員研究会(28年度は計2回の開催を予定)



大学院生



NEARセンター
研究員・教員

院生・研究員・教員と
関心分野で意気投合！

共同研究グループ
を作ってください

6月3日までに共同研究計画
書をご提出ください

選考・採択

共同研究経費の一部を助成します

フィールドワークや
文献調査

たとえば、
この助成金で
グループで活動

北東アジア地域へ
研究調査

市民研究員が相互に
関心分野で意気投合！

2つのサロン(研究グループ)で
共同研究？勉強会？読書会？
茶話会？.....etc.

グループ・リサーチ・サロン

研究資金獲得の助走	地域への政策提言	個人研究の深化	成果発表会	年次報告書
-----------	----------	---------	-------	-------

連携

☆共同研究グループには市民研究員の中から共同研究に参画していただき市民の立場からの知識を院生に与えることで、大学院教育にご協力頂きます。今年度末(3月)に共同研究の成果をご報告頂きます。
(グループ構成:市民研究員+院生+研究員・教員)
☆この共同研究は、H28年度より浜田市からも補助金を受けています。

☆各研究グループには、今年度末(1月)に活動の成果をご報告頂きます。また、この際には従来通り個人の発表も受け付けます。

問い合わせ先：

島根県立大学 浜田キャンパス

担当：キャリア支援室 松尾・木村

電話：0855-24-2202

メール：career@admin.u-shimane.ac.jp

平成 27 年度 海外企業研修 成果報告会

1. 海外企業研修について

海外企業研修は、グローバルに展開する企業への訪問、現地大学生との交流を通じて、国際的視野の獲得と国際協調の精神を養う機会を提供し、グローバルな人材育成を目指し実施しています。

平成 27 年 8～9 月にインド共和国コース、平成 28 年 2～3 月にタイ王国コースの 2 コースを実施しました。各コースに参加した学生が研修を通しての成果報告を行います。

2. 日 時 平成 28 年 4 月 18 日(月) 5 限 (16:30～17:50)

3. 場 所 島根県立大学 講義研究棟 1 階 中講義室 4

4. 主催者 島根県立大学キャリアセンター

5. スケジュール

16:30	開会の挨拶
16:35	学長 挨拶
16:45	インド共和国コース 報告
17:05	質疑応答
17:10	タイ王国コース 報告
17:30	質疑応答
17:35	平成 28 年度 研修のお知らせ
17:45	閉会の挨拶

【平成 27 年度 海外企業研修 実施日程及び参加学生 (学年は参加当時) 内訳】

- インド共和国コース：平成 27 年 8 月 30 日(日)～9 月 5 日(土)の 7 日間
10 名【浜田 C 9 名 (3 年 4 名、2 年 4 名、1 年 1 名)、松江 C 1 年 1 名】
- タイ王国コース：平成 28 年 2 月 28 日(日)～3 月 5 日(土)の 7 日間
7 名【浜田 C 5 名 (3 年 1 名、2 年 3 名、1 年 1 名)、松江 C 1 年 2 名】

平成28年4月14日

島根県立大学 浜田キャンパス

担当：国際交流課 無津呂美保

電話：0855-25-9063

平成 27 年度国際交流報告書の発行について

この度、本学各キャンパスで実施している国際交流事業等にかかる報告書を作成しました。

この報告書は、本年度実施した様々な国際交流事業の様子を紹介しています。

主な内容：

- ・海外大学との交流の様子（訪問・受入）
- ・短期日本語・日本文化研修
- ・内閣府国際交流事業への学生派遣
- ・海外企業研修（インド、タイ）
- ・異文化理解研修（中国、韓国、ロシア、アメリカ）

平成 28 年 4 月 14 日
島根県立大学 出雲キャンパス
しまね看護交流センター
担当者：安食（管理課）
電話 0853-20-0220

島根県立大学出雲キャンパス・平成 28 年度公開講座の開催について

1. 目的・理由

島根県立大学出雲キャンパスでは、「開かれた大学」として教育・研究における成果を広く地域社会に還元するため今年度も公開講座を開催いたします。

2. 期間

出雲キャンパス公開講座：平成 28 年 5 月 24 日（火）～平成 28 年 12 月 3 日（土）

サテライトキャンパス公開講座：平成 28 年 4 月 9 日（土）～平成 29 年 3 月 18 日（土）

（詳細は別添資料を参照のこと）

3. 会場

・出雲キャンパス公開講座：島根県立大学出雲キャンパス、地域コミュニティセンター等

・サテライトキャンパス公開講座：出雲キャンパスサテライトキャンパス

（詳細は別添資料を参照のこと）

4. 主催者

島根県立大学出雲キャンパス しまね看護交流センター

（後援 島根県・島根県教育委員会・出雲市・出雲市教育委員会・島根日日新聞社・エフエムいずも）

5. 内容・対象：募集人数：別添資料を参照のこと

6. 申込方法・受講料

・ハガキ・電話・電子メールなどでお申し込みください。

・受講料は無料です。（材料費等が必要な講座もあります）

7. これまでの経緯や今回の特徴など

今年度から、出雲キャンパスと、昨年 10 月に出雲市駅北に開設した「サテライトキャンパス」の 2 つの会場を拠点として、講座を開催いたします。

サテライトキャンパスにおいても、「いずも健康市民大学」や、小学生を対象とした「論語教室」等、看護領域に限らず、市民のみなさんが興味・関心のある講座を多数開催いたします。お申し込みをお待ちしています。

平成28年度 島根県立大学出雲キャンパス 公開講座 プログラム

※申し込み締切:各講座とも第1回開催日の2週間前

講座番号	場所	回	日時		講師	講座名	講座内容	対象	募集人数
第1講座	出雲キャンパス 大講義室	1回	6月8日(水)	10:40~12:10	福島 敦子 (平成28年客員教授 ジャーナリスト)	心の健康は素敵なコミュニケーションから	経済的に豊かでありながら、どこか殺伐として潤いの足りない現代社会。その大きな要因の一つが、家庭、学校、職場、コミュニティ、それぞれのステージでのコミュニケーションの希薄さにあると考えます。デジタル化が進む現代の中で、あらためて人と人の直接的なふれあいやアナログのコミュニケーションの大切さを語ります。インタビューとしての経験から、人と心を通わせるためにどんなことを心がけてきたのか、人との出会いや気持ちのいいコミュニケーションがどれだけ人生をゆたかで、彩り鮮やかなものにしてくれるかをお伝えします。 (共催:出雲市市民活動支援課)	一般	140名
第2講座	社会福祉法人ふあっと 地域交流ホームつどい	1回	7月2日(土)	10:00~11:30	出雲キャンパス 和田 由佳(助教) 石橋 鮎美(助教)	笑いヨガでみんないきいき	「笑いヨガ」は誰にでもできる笑いの健康体操です。一度体験すると健康と活力を実感できます。最近「笑ってない」と感じている人、ストレスがたまっている人、健康にいつも笑っていた人、運動不足の人など、ぜひ笑いヨガを体験してみませんか？ 初めての方大歓迎！お子様連れでも参加できます。 参加費無料。飲み物を各自でご準備ください。 当日は動きやすい服装で、会場にお越し下さい。 1回目か2回目、どちらかにご参加ください。 (共催:出雲市市民活動支援課)	一般	20~30名
		2回	12月3日(土)	10:00~11:30			一般	20~30名	
第3講座	出雲キャンパス 215実習室	1回	8月27日(土)	10:00~11:30	出雲キャンパス 松本玄智江(准教授)	アロマで心と身体のリフレッシュ Part.11	生活の中にアロマセラピーを取り入れ、心と身体をリフレッシュする方法を一緒に学びましょう。 第1回:アロマを楽しむための基礎知識について 第2回:精油を使った小物作りにチャレンジ(材料費:200円) 第3回:精油を使ったマッサージにチャレンジ(材料費:200円) (共催:出雲市市民活動支援課)	一般 (3回参加できる方)	20名
		2回	9月3日(土)	9:00~11:00					
		3回	9月10日(土)	10:00~12:00					
第4講座	出雲キャンパス 107演習室	1回	8月2日(火)	10:30~11:30	出雲キャンパス 濱村美和子(講師)	プレママと赤ちゃんのためのゆったりヨガ ~マタニティ&育児を楽しみましょう~	第1回:ベビーマッサージとベビーヨーガ:気軽にできるマッサージとヨーガで赤ちゃんを楽しむ時間を作りましょう。(オイルを使わないベビーマッサージと簡単なベビーヨーガの実施) *タオル1枚、授乳に必要な物品、オムツ等はご持参ください。 *保護者の方は動きやすく、紐やボタン、飾りなど赤ちゃんに当たったり絡まる装飾のないものを着用されるか、ご準備ください。 (共催:出雲市市民活動支援課)	首が据わりタッチができるまでの赤ちゃんとその保護者 *赤ちゃんと保護者が1対1で行える様にご参加ください。	15名程度
		2回	8月9日(火)	13:30~15:00	出雲キャンパス 嘉藤 恵(助教)	第2回:マタニティヨーガ:安産を目指して体を整えるマタニティヨーガを始めましょう。(マタニティヨーガの基本、方法、進め方と注意点など紹介と実施) *肌の露出が少なく、動きやすい服装でお越し下さい。 (共催:出雲市市民活動支援課)	20週以降の妊婦(医師より安静指示のある方はご遠慮ください)	15名程度	
第5講座	地域コミュニティーセンター(未定:しまね看護交流センターにお問い合わせください)	1回	11月23日(水)	10:00~12:00	出雲キャンパス 長島 玲子(教授) 井上 千晶(講師) 石岡 洋子(助教)	プレパパ・ママ講座 -体験者や赤ちゃんから学ぼう!妊娠・出産・子育て-	初めての出産の前は、赤ちゃんを迎える喜びと共に不安もいっぱい。そんなプレパパ&ママが安心して出産・育児を迎えられるよう、赤ちゃんが「先生」になって教えてくれる講座です。講話と実技30分(安産のために夫婦で取り組む生活の工夫、赤ちゃんからのメッセージ)の後、「赤ちゃん」&ご両親と交流し、先輩の体験談を聞いたり、抱っこやおむつ交換の体験をさせていただきます。「赤ちゃん」が“不安”を“笑顔”に変えてくれる講座です。 (共催:出雲市男女共同参画センター)	初めて出産を迎える夫婦 2~7か月の赤ちゃんと保護者	5~6組 10組
第6講座	出雲キャンパス 215実習室	1回	9月16日(金)	18:00~20:00	出雲キャンパス 高橋恵美子(准教授) 小田美紀子(講師) 小田 香澄(助手)	前向き子育てのための親講座(グループセッション)	子育ては、もともと楽しくやりのあるものですが、同時にとても疲れるものです。時に反抗的になったり、言うことを聞かない子どもを相手にすることは、親にとってもストレスに感じることもあるでしょう。子育てにこれが正解という決まった方法はありません。ひとりひとりの親が、自分の子どもとどう向き合うかその方法を見つけ出す必要があります。このプログラムは、オーストラリアのTriple P(トリプルP)の「グループ前向き子育てプログラム」を基本としたペアレントトレーニングです。4回のグループセッションを通して、日頃の子育てを振り返る時間を作り、子どもとの上手な関わり方を見つける講座です。 4回のセッションのテーマは次の通りです。 ①前向き子育てとは②子どもの発達を促す③問題行動を取り扱う④前もって準備する *本講座は実践のプログラムです。研修の後、家庭で実践するという宿題があります。	3~10歳程度の子どもの持つ親。 子どもとの上手な関わり方を身につけたいと思っている人。 (4回続けて出席できる人)	8名(定員になり次第締め切ります。4名以下だと中止します。)
		2回	9月23日(金)	18:00~20:00					
		3回	9月30日(金)	18:00~20:00					
		4回	10月7日(金)	18:00~20:00					
第7講座	出雲キャンパス 215実習室 220~224演習室	1回	5月24日(火)	19:00~20:30	出雲キャンパス 松本玄智江(准教授) 吉川 洋子(教授) 平井 由佳(講師) 岡安 誠子(講師) 川瀬 淑子(講師) 梶谷麻由子(助教)	模擬患者(SP)養成講座	「模擬患者」ってご存じですか?医療者教育の中で「設定された患者」を演じる人のことです。最近では医療者教育における「模擬患者」の果たす役割が重要視されてきています。興味関心のある方であればどなたでもできますが、教育効果がある模擬患者を演じるためにはある程度のトレーニングが必要です。この講座では「模擬患者」になるためのトレーニングを行います。この講座を受講することで、受講者自らのコミュニケーションを見直す機会ともなりますし、医療者とのより良いコミュニケーションにもつながると思います。 (共催:しまね模擬患者の会)	一般 (原則として5回参加できる方)	10名
		2回	6月21日(火)	19:00~20:30					
		3回	7月20日(水)	19:00~20:30					
		4回	9月13日(火)	19:00~20:30					
		5回	10月25日(火)	19:00~20:30					

平成 28 年度 島根県立大学出雲キャンパス サテライトキャンパス公開講座

会場：島根県立大学出雲キャンパス サテライトキャンパス（出雲市駅北町1 夢屋テナントビルF棟2階）

参加費：無料

名 称	ねらい	時 期	対 象	講 師
いずも健康市民大学 ※前期・後期それぞれ募集します	多様な分野の専門的な内容を継続的に学習し、健康づくり等の自主的な活動や豊かな市民活動について考えます	前期 平成 28 年 5 月～8 月 ※全 15 回 （申し込み期限：4月 30 日） 後期 平成 28 年 9 月～12 月 ※全 15 回 （申し込み期限：8月 15 日） （開催日については別紙参照） 時間；原則 13:30～14:30 （講座によっては変更あり）	一般市民 前期・後期 各 20 名程度	別紙プログラム参照
いきかたカフェ	生き方や逝き方について考える場を提供し、自分自身や大切な人のいのちについて考えます	平成 28 年 4 月～ 平成 29 年 3 月 月 1 回第 3 土曜日開催 （10 月休み） （開催日については別紙参照） 時間；14:00～16:00	テーマに関心 のある方	毎回ファシリテーターにより運営
論語教室	論語の素読を中心に、古典に親しみ古典を学ぶことにより、これからの生き方を考えます	平成 28 年 4 月～9 月 ※全 12 回 （開催日については別紙参照） 時間；14:00～15:30 ※申込締切：3 月 11 日（金）	市内小学生 （4 年生～ 6 年生） 20 名	小倉雅介 （私塾「尚風館」講師・ 出雲市立北陽小学 校 元校長）

いずも健康市民大学 前期課程プログラム

回	日時		講師	講座名	講座内容
1回	5月17日(火)	13:30～14:30	一畑薬師 管長 飯塚大幸	インド仏跡巡拝と眼鏡寄贈事業	インドは仏教のふるさとであり聖地です。仏教徒としてこの地を巡拝することは無上の喜びであり、大いなる気づきをいただくことができます。一畑薬師は「目のやくし」として、使われなくなった眼鏡を奉納して頂き、供養したのちに、数年に一度の仏跡巡拝の折に、現地の恵まれない人々のために役立てていただく事業を行っております。写真を使いながら事業の紹介、そしてブッタの教え、日本人の精神文化について考えます。
2回	5月19日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 副学長 山下一也	認知症を知ろう	この20年で6倍にも膨れあがった認知症の患者数ですが、いまだ根治薬はありません。認知症医療や介護にかかる経費は、がん・脳梗塞・心疾患にかかる費用を総合した額を超えています。認知症と一口に言っても人によって出る症状は個々によって大きく違います。認知症の種類、認知症の症状や出てしまった際の対応と改善策についても、3名の講師陣でわかりやすくご説明します。
3回	5月26日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 教授 伊藤智子	認知症の予防と備えⅠ(回想法)	
4回	6月2日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 講師 加藤真紀	認知症の予防と備えⅡ(食事と運動)	
5回	6月9日(木)	13:30～14:30	万九千神社 宮司 錦田剛志	ナオライ 直会とは何か?	神々と人々が飲食を共にする祭祀儀礼の「直会」。この祭儀によって人々は神々と共に和み楽しみ、笑顔と活力を頂きます。出雲では宴会の代名詞のごとく使われている身近な言葉ですが、その意味するところを今一度考え、心豊かな生き方のヒントを探ります。
6回	6月23日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 教授 秦幸吉	楽しく食べて健康長寿	現代の日本人は明らかに糖質を摂り過ぎています。このような食生活を続けていることから、内臓脂肪による肥満から、食後高血糖、高血圧、脂質異常が同時に起こるメタボリック症候群、そして糖尿病、動脈硬化、慢性腎臓病、心筋梗塞、脳卒中、ガン、認知症などの生活習慣病へとドミノ倒しのように次々と病気が襲ってきます。したがって、正しい食生活を普及させれば、自然と適正体重が保たれ、肥満になることはなく、糖代謝異常・糖尿病へのドミノが倒れず、生活習慣病は予防できると考えられます。これからは病気になってから治療するのではなく、どのようにして病気を日頃から予防するのが大切です。今回、2回にわたり人間を健康長寿、病気予防へ導く理想的なダイエットについて解説します。
7回		14:40～15:40		「いただきます」に込められた感謝の気持ち	
8回	6月30日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 浜田キャンパス 教授 藤原真砂	ワークライフバランス	生活時間の研究などから得た知見をもとにワークライフバランスについてお話しします。
9回	7月7日(木)	13:30～14:30	公益財団法人 お香の会 理事 大谷香代子	香道の紹介	日本伝統文化特に伝統芸道として今日まで伝わる茶道・華道・能楽などは室町時代東山文化にその発生をみます。香道もそのひとつであり、香りの芸道から日本文化をみていきます。香道で使用する「香」は日本では産出しない天然自然の木「香木」です。「香」の種類またその歴史を知り、香木に触れ、またその香りを体験し、できれば、物語や和歌などとの関わりも探ります。
10回	7月12日(火)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 教授 若崎淳子	女性のがん: 罹患率第1位 ～増えています! 乳がん～	【がん講座】 知って安心!! そして行動!! ～がんの知識と予防・早期発見～ 私達の生命および健康にとって重大な課題であるがんについて、信頼できる最新の正しい情報を盛り込んで、わかりやすくお話しします。
11回	7月19日(火)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 准教授 掛屋純子	男性のがん: 罹患率第2位 ～増えています! 前立腺がん～	
12回	7月26日(火)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 教授 掛橋千賀子	がん患者の家族の思い	
13回	8月2日(火)	13:30～14:30	岡山ろうさい病院 がん看護専門看護師 坂井淳恵	がん医療とサポート	
14回	8月9日(火)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 教授 若崎淳子 准教授 掛屋純子 岡山ろうさい病院 がん看護専門看護師 坂井淳恵	早期発見!!がん検診を受けましょう	
15回	8月25日(木)	13:30～14:30	木次乳業有限会社 有限会社室山農園 取締役 佐藤忠吉	地域支援が地域活性に与える影響	農を通して人と人の関係づくりについて考えてみます。

いずも健康市民大学 後期課程プログラム

回	日時		講師	講座名	講座内容
1回	9月8日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 松江キャンパス 教授 小泉凡	文化創造の喜び ーラフカディオ・ハーンを活かす世界の動きー	近年、ハーンという作家を地域資源として創造的に活用する動きが世界でみられます。従来の作家の顕彰とは一味違う活動です。松江ゴーストツアー、アイルランド・トラモアの八雲庭園、小泉八雲朗読ライブ、オープン・マインド・プロジェクト……地域資源を創造し参加する喜びと感動で人生を楽しみ、心身の健康維持をはかりませんか。
2回	9月13日(火)	14:00～15:00	島根県立大学 出雲キャンパス 副学長 山下一也	認知症の正しい理解	現在、認知症高齢者が増加し、400万人を超えと言われており、80代では、3人に1人が認知症を抱えながら生活をしています。また、予防できないと思われていた認知症が、生活のスタイルを改善することにより、予防できることが最近の研究でわかってきました。すなわち、認知症の原因については、①加齢 ②遺伝 ③血管因子(高血圧、糖尿病など) ④生活習慣であり、③、④についてが認知症予防法というわけです。この講座では認知症予防を中心にわかりやすく説明したいと思います。
3回		15:10～16:10		認知症予防最前線	
4回	9月29日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 浜田キャンパス 教授 川中淳子	コミュニケーションに役立つカウンセラー (臨床心理士)の視点	コミュニケーションに困難が乗じた時にどのように考えていけばよいのか、カウンセラーの視点から話します。カウンセラーが持つ理論や技術は万能薬や特効薬にはなりませんが、皆さんの毎日に役立て欲しいと思います。
5回	10月6日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 副学長 山下一也	認知症の症状や対応について	第2回、第3回に続きます。
6回	10月13日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 教授 秦幸吉	楽しく食べて健康長寿	現代の日本人は明らかに糖質を摂り過ぎています。このような食生活を続けていることから、内臓脂肪による肥満から、食後高血糖、高血圧、脂質異常が同時に起こるメタボリック症候群、そして糖尿病、動脈硬化、慢性腎臓病、心筋梗塞、脳卒中、ガン、認知症などの生活習慣病へとドミノ倒しのように次々と病気が襲ってきますが、正しい食生活を普及させれば、自然と適正体重が保たれ、肥満になることはなく、糖代謝異常・糖尿病へのドミノが倒れず、生活習慣病は予防できると考えられます。これからは病気になるから治療するのではなく、どのようにして病気を日頃から予防するのが大切です。今回、2回にわたり人間を健康長寿、病気予防へ導く理想的なダイエットについて解説します。
7回	10月20日(木)	14:40～15:40	島根県立大学 出雲キャンパス 教授 秦幸吉	「いただきます」に込められた 感謝の気持ち	
8回	10月27日(木)	13:30～14:30	小松電機産業株式会社 代表取締役 小松昭夫	真の健康は賜るもの	人類とは、日本人とは、そして真の健康とは？マズローの欲求5段階説、当研究所が編集した中国古典名言録の中にヒントがあります。心身ともに健康で過ごすには、積極的に楽しみ、愉快の境地をひらくことです。当社は、社会問題を経営資源として、2つの製品を開発し全国・世界へ市場を開拓してきました。世界は戦争や歴史的問題等によって混迷を極めています。自分の立ち位置を再認識し、愉快な人生を送るために役立てば幸いです。
9回	11月10日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 講師 小田美紀子	コーチングを活用した人間関係づくりI 相手を認める承認のスキル	コーチングとは、人の可能性を信じ、それぞれの個性を尊重しながら信頼関係を築き、まわりの人を自ら考え、自ら判断し、自ら行動を起こせる自立した人へと育てていくためのコミュニケーション技術です。今回は、「承認」のスキルに焦点をあて、Iでは自分自身の承認の傾向やスキルアップのための演習を行います。IIでは、相手のタイプによる承認の方法を学びます。また、自分自身のタイプも知り、日常生活に活かしましょう。
10回	11月17日(木)	13:30～14:30		コーチングを活用した人間関係づくりII タイプ別の接し方	
11回	11月24日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 准教授 樹屋純子	男性のがん: 罹患率第2位 ～増えています！ 前立腺がん～	【がん講座】 知って安心!! そして行動!! ～がんの知識と予防・早期発見～ 私達の生命および健康にとって重大な課題であるがんについて、信頼できる最新の正しい情報を盛り込んで、わかりやすくお話しします。
12回	12月1日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 教授 若崎淳子	女性のがん: 罹患率第1位 ～増えています！ 乳がん～	
13回	12月15日(木)	13:30～14:30	島根県立大学 出雲キャンパス 講師 藤田小矢香	気軽に薬膳 ～元気を冬を過ごすための知識～	寒い季節「冬」は、身体の冷えから体調不良を感じる事が多くなります。薬膳の考え方を取り入れて、身体を温める性質のある食材、気血の巡りをよくする食材や組み合わせについてご紹介したいと思います。中国には「病從口入(びょうじゅうこうにゅう):病氣は口から入ってくる」ということわざがあります。より健康に過ごすために、普段の食材にも目を向けてみたいと思います。
14回		14:40～15:40	島根県立大学 出雲キャンパス 准教授 狩野鈴子	中高年のヨガ ゆったりヨガで健康づくり	健康的な日常生活を送るためにヨガを取り入れてみませんか。激しい動きや無理なポーズではなく、自分のできる範囲でそれぞれのペースで楽しく行ってみましょう。運動が苦手な人でも大丈夫です。ヨガを通して、ゆったりとこころよく、心と身体をほぐして健康な身体づくりをめざしましょう。
15回	12月22日(木)	13:30～14:30	阿須伎神社 宮司 錦織雅紘	方言と文化	出雲弁は出雲地方の特徴的な言語文化であるが必ずしもそうでない一面をもち、さかのぼれば中近世の日本人の一般的な発音形体であった部分も文献上認められています。そうしたことをテーマにお話をするつもりです。

2. いきかたカフェ 活動計画

開催日程	テーマ
4月16日(土)	最期のメッセージ
5月21日(土)	講演会「知っていますか？在宅療養」
6月18日(土)	お坊さんと話そう！
7月16日(土)	事例検討 末期がんであったにもかかわらず最後まで独居を貫き、ご自宅で最期を迎えられた事例
8月20日(土)	もし看取る立場になったとき、どうしますか？
9月17日(土)	認知症患者の介護
11月19日(土)	あったらいいなあ～こんなメッセージ
12月17日(土)	家族と最期の時について語ったことがありますか？
1月21日(土)	大切な存在を亡くしたとき～グリーンケアについて～
2月18日(土)	未定
3月18日(土)	家のない人の死を考える

3. 論語教室 開催日

回	開催日程	回	開催日程
第1回 開校式	4月9日(土)	第7回	6月25日(土)
第2回	4月23日(土)	第8回	7月2日(土)
第3回	5月7日(土)	第9回	7月9日(土)
第4回	5月14日(土)	第10回	9月3日(土)
第5回	5月28日(土)	第11回	9月10日(土)
第6回	6月4日(土)	第12回 閉校式	9月24日(土)

島根県立大学出雲キャンパス
サテライトキャンパスの場所



島根県立大学大学院看護学研究科 開設記念講演会

島根県立大学出雲キャンパスでは、大学院看護学研究科の開設を記念し、看護学分野においてグローバルにご活躍の南裕子先生を講師にお迎えし、社会が求める看護の専門性を追求する視点からご講演頂きます。

講 師： **南 裕子先生**（高知県立大学 学長）

テーマ：「**社会の変化に対応する看護学の挑戦**」



南 裕子先生 プロフィール

兵庫県出身
高知女子大学卒業、イスラエル国ヘブライ大学にて修士課程修了(MPH)、カリフォルニア大学にて博士課程修了(DNS)修了
横浜市民病院で看護師をスタート。その後、高知女子大学、聖路加看護大学で教鞭を執った後、1993年兵庫県立看護大学学長、2008年近大姫路大学学長、2011年より現職

開催日：平成 28 年 4 月 27 日(水)

10 時 00 分開場

10 時 40 分～12 時 10 分 記念講演会

会 場：島根県立大学出雲キャンパス 大講義室

島根県出雲市西林木町 151 2号館 3階

参加費：無料

申込方法 FAX でお申し込みください。

FAX によるお申し込み 裏面の申込用紙にご記入の上以下の宛先にお送りください。

申込み FAX 番号：0853-20-0201

申込期限：平成 28 年 4 月 20 日(水)まで(必着)

定 員：100 名

問合先：島根県立大学出雲キャンパス 大学院開設記念講演会担当：目次(めつぎ) TEL:0853-20-0262

島根県立大学大学院看護学研究科開設記念講演会

参加申込書

FAX:0853-20-0201

ご所属	
申込代表者 氏名	
連絡先	TEL: FAX:

(ふりがな) 参加者氏名
()
()
()
()
()
()
()
()
()

* 申込み代表者も含めてご記入ください。

平成 28 年 4 月 14 日
 島根県立大学 出雲キャンパス
 担当：田中芳文（学生生活部長）
 電話：0853-20-0200

「新入生歓迎バスツアー」の開催について

島根県立大学出雲キャンパス新入学生を対象としたバスツアーを開催します。
 出雲大社を参拝し、神門通りにてまちづくりの歴史を学び、島根県立古代出雲歴史博物館を見学します。

1. 目的

出雲キャンパスの新入学生はおよそ 4 割が県外出身者です。県外から来られた新入学生には島根県とのご縁を深めてもらいたい、また地元出身者には地元の魅力をより深く知っていただきたいと考えています。また、今回の企画がきっかけとなり、学生が地域に出て、地域の皆様との交流が深まることで地域の発展に寄与できればと考えています。

2. 日時

平成 28 年 4 月 23 日（土曜） 8：40～14：50

3. 行程

当日はバスで大学から移動し、出雲大社周辺を巡ります

8：40 大学集合
 9：10～10：50 出雲大社・・・観光ガイドによる境内案内のあと団体祈祷
 11：00～13：30 神門通り・・・まちづくりについての談話（10分程度）
 ……まちあるき（80分程度 昼食・買い物）
 13：30～14：30 島根県立古代出雲歴史博物館・・・常設展見学
 14：50 大学着、解散

出雲大社の主祭神は大国主大神。『縁結びの神様』として有名ですが、因幡の白ウサギ神話でも知られるように『医療の神様』でもあります。

医療の世界に向かって足を踏み出し始めた学生が、これからの道をまっすぐに歩いていけることを願って、出雲大社神楽殿にて団体祈祷を行います。

その後、神門どおりおもてなし協同組合の協力により、まちづくりの歴史を学び、特製の商品券を手にもちあるきを行います。

最後に、県立古代出雲歴史博物館で、奥深い島根の歴史と文化を学びます。

4. 出席者・参加人数

4月に入学した、看護学科1年生80名 別科助産学専攻18名
 在学生、教職員 約20名 合計 約120名

5. 主催

島根県立大学出雲キャンパス学生生活委員会

6. その他

今回のバスツアーは出雲市を始め出雲市商工会議所など地域の皆様で構成される『島根県立大学出雲キャンパス支援ネットワーク』からのご寄付で実施いたします。